

食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する

重点課題	活動テーマ	達成に向けた施策	基準年度 (2021年度)	中間目標及び進捗 (2024年11月現在)	目標 (2030年)
環境 7 環境と社会との共生を実現するための取り組み 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を	環境に配慮した設備の更新 (CO2排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> 社内照明設備のLED化 冷凍機の冷媒を代替フロン(R22)から、自然エネルギー(CO2、NH3)を用いた設備への更新 	【電気使用量】 1335.8kwh / 百万円 (製造高) 【冷凍機】 0機 / 5機 【照明】 65機 / 142機	【電気使用量】 544.8kwh / 百万円 (60%削減) 【冷凍機】 1機/4機更新 【照明】 130機/142機更新	2021年度対比 電気使用量45%削減 すべての冷凍機・照明設備の更新
	食品廃棄物の削減や活用	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程の自動化によるロスの削減 自社直販による規格外品の販売 完全受注による製造への転換 製造工程でのロス削減 (既製品パーツ以外での開発) 	【廃棄量】 31.26kg / 百万円 (製造高)	【廃棄量】 26.31kg / 百万円 (16%削減)	[2021年度対比] 35%削減 (20.0kg / 百万円)
	インボイス制度の導入 (ペーパーレス化の推進)	<ul style="list-style-type: none"> 伝票の電子化 製造現場でのタブレット導入 F A Xの電子受信 	【購入数量】 約100,000枚 / 年	【購入数量】 約 50,000枚 / 年 (50%削減)	[2021年度対比] 80%削減 (20,000枚 / 年)
	働き方 8 働きがいも 経済成長も	全社員が活躍できる労働環境整備 <ul style="list-style-type: none"> 適正な労働環境の整備 社員の健康増進 ワークライフバランスの実現 	<ul style="list-style-type: none"> 残業時間の削減 働き方改革の実施 製造現場でのタブレット導入 ISO9001の仕組みを利用した社内向け整備 (従業員も大切な顧客と捉える) 	【月間残業時間平均】 22.4h	【月間残業時間平均】 16.9h (25%減)

※当社のCO2排出の約9割以上が電気の使用に由来しております。そのため、電気使用を抑制することがCO2の削減につながると考えエネルギー効率の良い設備への更新、「省エネ」に努めてまいります